

事務事業名		アリーナためま等指定管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	15365	一般	10	5	2	アリーナためま等指定管理事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	20年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
					佐野市体育施設条例及び同条例施行規則 佐野市都市公園条例及び同条例施行規則	任意的事業・義務的事业		任意的事業		
						実施方法		指定管理者		
						事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度からアリーナためま、葛生武道館、中運動公園、葛生農業者トレーニングセンターの4施設を平成22年度から田沼グリーンスポーツセンター、田沼総合運動場、田沼西運動場の3施設を指定管理者により管理していたが、平成28年度より併せて7施設を指定管理者により一括管理としている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者:(株)フクシ・エンタープライズ</li> <li>施設の修繕。</li> <li>指定管理業務の監視。</li> <li>指定管理者への指導、助言。</li> </ul>					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
指定管理施設数		施設	7	7	7	7	7
修繕件数		件	23	25	17	16	21

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民。</li> <li>指定管理施設。</li> <li>指定管理者。</li> </ul>		対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		人口		人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,683
		指定管理施設数		施設	7	7	7	7	7
		指定管理者数		団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。</li> </ul>		成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		指定管理施設利用者数		人	180,244	191,296	195,407	253,725	200,000

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

施設を有効活用している		上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		指定管理者の自主事業数		事業	-	41.0	42.0	44.0	46.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	967	454	297	568	373					
	一般財源	千円	81,233	80,153	79,674	75,626	77,283					
	事業費計(A)	千円	82,200	80,607	79,971	76,194	77,656					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			修繕料	6,246	需用費	5,652	需用費	5,915	修繕料	5,101	修繕料	5,960
			手数料	70	火災保険料	94	火災保険料	98	火災保険料	102	火災保険料	103
火災保険料			92	運営委託料	403	運営委託料	245	自動車保険料・重量税	82	自動車保険料	133	
運営委託料			421	指定管理料	73,108	指定管理料	73,108	手数料	22	自動車重量税	117	
指定管理料			71,350	自動車保険料・重量税	119	自動車保険料	44	運営委託料	49	業務委託料	0	
自動車保険料・重量税			34	工事請負費	605	自動車重量税	39	指定管理料	69,687	運営委託料	116	
工事請負費			3,360	土地借上料	630	土地借上料	526	土地借上料	526	指定管理料	70,701	
土地借上料			630					工事請負費	627	土地借上料	526	
人件費			人	3	3	3	3	3	3			
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100					
人件費計(B)	千円	389	394	389	384	384	384					
トータルコスト(A)+(B)	千円	82,589	81,001	80,360	76,578	78,040						

事務事業名	アリーナためま等指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ市推進課	担当係	管理係
-------	----------------	-----	---------	-----	----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成20年4月から「アリーナためま」「葛生武道館」「中運動公園」「葛生農業者トレーニングセンター」を、平成22年4月から「田沼グリーンスポーツセンター」「田沼総合運動場」「田沼西運動場」を指定管理とし、平成28年度より併せて一括指定管理とした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・市町の合併があり、施設利用者は全体的に増加している。 ・葛生武道館、中運動公園、田沼総合運動場や田沼西運動場の施設の老朽化が進んでいる。 ・田沼西運動場は地域に密着した施設であり、利用者についてもその地域の方の利用が多く、利用者数は横ばい状態。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業統合・連携	平成28年度からアリーナためま等指定管理事業として統合

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持、体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・指定管理者制度を導入したことにより、スポーツに関する専門的知識を有する従事者を配置するなどサービスの向上が図られた。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・指定管理者制度を導入したことにより、事業費の削減ができた。 ・指定管理者制度を導入したことにより、人件費の削減ができた。 ・田沼グリーンスポーツセンター等指定管理と合わせたことで、削減ができた。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	・施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
・市民がスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設を失うこととなるため、廃止、休止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
			コスト																							
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										